時事新報定價
一箇月金二十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓
〇時事新報ハ毎日一部宛ニテ發賣スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ郵稅料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五段記事仕組字數	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日并に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に貼用する郵便印紙の代價を申受く可し

時事新報

廣告料に商業思想あらんことを要す

本紙は政治思想なし云々の嘆は我輩の毎度耳ユする所なれども國會議員も最早創箇月後に迫りたる今日、世間一般の有識を見れば到る處政黨輩ならざるなく地方に因りては政論の爲めに父子反目し朋友疾視し穏當ならざる事為も少なからず政治思想の順なる者に非ざれども其思想の政治に專なるや疑を容れず左れば今日我國の實際に於て政治思想の爛んなるは殆んど豫想外なれども顧みて其商業思想如何と云へば人々之れに冷淡あると是れ亦豫想外にして憲法と云ひ若くは其解釋と云ひ凡そ此向きの問題は人々好んで喋々すれども商業上の問題にて數字の少しく込み入りたるものは疊烟過喰、之を細觀熟考する者甚だ稀なるもの〳〵如し此流の政論家が遣て撰まれて國會議員と爲り商業經濟的の問題ユ關る〳〵みと益々多きに至りたらば如何、當人の迷惑收智く置き迷惑なる人に賜せられて利害損益を支配さる〳〵商賈實業家の迷惑は一層甚だしきみとあらん抑も我輩が今日に當り未來の國會議員に向て特に商業思想あらんみとを望むは他に非ず數日前の時事新報中、官邊に商賈の思想あらんみとを望むと題する一篇にも記し置きたるが如く日本政府は士族學者流の淵藪にして施政上に美あるもの少なからざれども金儲商賈の事に至りては明に机上の理論を以て天下の活運動を制せんとするものなきに非ず單竟黑代の出風として一般に商業の事を卑しみ之れに注意する者少なかりしかば德川時代文學の盛んなるを以てするも經濟理財を論議したる者は熊澤蕃山、中井履軒、物部徂徠、新井白石、佐藤信淵の數氏に過ぎず誠に寥々たる者なれども此寥々たる經濟論も多くは社會の大法に通せず人事は總べて官府の仕向け通りユ行はる〳〵者なりと信じて或は金利ユ制限を設き或は商品の高直を患へて其直段の割引を命ずるが如き毎度學者流の說に出て〳〵之を實施したるやうの次第にして商賈社會の秩序と云ひ理財自然の傾向と云ひ之れに顧着せざるの流儀ありしかば其學說を引き來りて今の要路に立つ者の中にも商業上の事に就ては種學餘韻を今に存して古風の綱子を退ふものなしと云ふ可らず先頃金澤の蠶繭社員が土地の米商會所にて定期米を買賣するを以て米價を騰貴せしむるの弊ありとし米商仲買人に力迫したり云々の報知ありしが其實際の如かなるは申すまでもなく政府も寥々たる比非ず人力を以て長く物價の高低を左右し得べしとの精神は古流經濟論中に充滿して幾百年間人を誤りたる者にして所謂商業思想なく黑代遺傳の想像ユ訴へて事を判斷する者の中には官員其に此等の考を抱く者多かる可し此時ユ當り國會議員として立法の周に當り商工實業上の利害得失を評決する者は責任の大なること如何ぞや五尺の身體、渾べて商業思想を以て充滿せざる可らざる程の次第ならん今海外の事例を按ずるに英米其他商賈國にては商業社會獨立を保ちて漫に政治家の干渉を許さず商工業上の法律規則は政治家の自から工風するものに非ず即ち國會議員等が斯く〳〵の條例は商業上に利益ある可しとて之を議決する者よりも寧ろ彼の商人の方にて斯く〳〵の條例ユそ必要あれと數へ立てたる其目錄中より拔萃して之を施行する者多きが故ユ商工業上の立法に關して自から根據する所あり國會議員の責任も又幾分か輕きもの〳〵如くあれども凡そ彼の國の習慣として國中拱大なる土工事業、例へば英國などにて申せば倫敦リヴアプール の船渠築造若くは目下工事中なるマンチエスター運河開鑿の如き國會議院の決議を經て夫れ〳〵其命令條案を發する事にして斯かる大工事に關しては國會は特別調査委員を撰んで其利害を調査せしむるみとあり或は公共立の會社等にて其會計若くは事務に就き世人の疑惑或は攻擊を受けたる時、特に國會議院に向て其會計事務の檢査を請願するともあり此等の場合に臨んでは周密なる商業思想を以て公平なる調査檢分を爲し其當業者の迷惑を來さゞるやう大に意を用ひざる可らざるが故に國會議院は各種の實業家を網羅して常に衆智の府たりと云ふ然るに我國の商業社會は未だ獨立の勢を成さず商人は政治家の鼻息を仰で如何なる法律條例が一朝突然に天降るも內實窃に當惑するのみにて外面は先づ以て之れに服從するやうの次第にして商業上の法律規則を商人の方より當てがひて政治家に唯其制法の手續を爲すに止まるが如きは今日我が商人の殆んど夢想し得ざる所ならん斯かる事情のあらん限りは國會議員たる者も一層其責任の重きを知り政府と商業社會との間に立て實着精密の考案を出し古流經濟論の其間に起りて商業社會の秩序を紊さんとするともあらば根本より之を駁破して一方には政府の缺を補ひ一方には商賈安を庇護せざる可らず即ち我輩が今日に當り未來の國會議員に向て敢て商業思想の必要を說く所以のものなり

官報

○東京府訓令第十五號　郡役所　町村役場　區役所

近日府下ユ天然痘患者ヲ發生セシニ國ヲ高一種痘ヲ爲リ之カ爲メ傳播ヲ來シ候テハ不都合ニ付此際種痘ヲ要スルモノヲ調査シ速ニ種痘普及候樣深ク注意スヘシ

明治廿三年五月九日　東京府知事男爵高崎五六

報

○歐洲塗物の實況（一昨八日の續き）

染め上げたる後絞りて器械に蒸すか水洗ひするか蒸すか酸化蛮に送るか乘法により取扱ふなれり水洗器械はキースレル會社の水洗器械を用ひ絞り器械は乾燥室に送る前に水氣を去らしむる器械にして大抵の工場にては上動達心器械を用ふ此器械の構造は大なる太鼓形の銅製又は鐵製の桶にして外部に無數の小孔ありて此內ユ絞るべき物品を容れ蒸氣の力を以て此桶を回轉ゝるときは桶は一秒時間に六百乃至千五百の速なる回轉を爲すが故に水氣は遠心力の理にて小孔より四方に放出し五分時ならずして絞り上る其桶の大さは一概ならざれども木綿五十ポンド入り二百ポンド入り位が通例なり絞り上げたる後ち乾燥室ユ送る乾燥室の構造ユ就ては別に記すべければ此に略す

染料ユ三種あり原絲染め、織布染め、型染とす前條の染法は原絲染ユして織布染は寧ろ整理業の一部ゐるべければ同項に述べ型染も後に記して讀者の參考に供せん偖斯くして乾し上げさる者をセビル器械延し器械等に掛け或は原絲自身の摩擦にて光澤を出さしめ或は蒸氣ユて原絲を引延し仕上をなすあり就業は各工場とも大概一日十時間半ユして日曜日大祭日の外休日なし職工は年期小僧、職人、親方の三種あり年期は三年給料は一週日に三マーク乃至六七マーク職人は同十マーク以上二十三四マーク以下親方は三十マーク以上とす又工場により職工に染め物一ポンドに付何程と增給し奬勵する法あり猶又炎蟲積金、病氣積金の法あり市廛の管理する處にして職工は每週給料凡そ百分の一內外を市廛に拂へば工場器械破損又は病氣等の時は一日凡そ二マーク內外を市廛より支給する仕組なり

染料は染法により異なれども通例木綿一ポンドに付二十錢、絹同一圓內外なり工場の管理は何れの工場も主人自ら任に當り此主人なるもの數萬の富を有し錦衣玉食心のまゝなれども工場にある間は粗衣を着け職人と共ユ一日十時間餘の仕事に從ふとは本邦人中に見んと欲するも得べからざる所あらん

各工場其自家の染法を秘密にするは無論の事にして中には主任の職人にも知らせず只此色は向ふの小桶の色と此方の壺の型とにて染ひべし抔申付け用藥色素等は主人自から調合し說き何人が爲すも其色に染め上る樣仕組みある工場多し又大抵の工場にては殊に他人の來觀を忌み（勿論一寸見物は許支なし）染藥學校或は大學校等に在り多少の學識ある人物にして工場に永く忠誠を盡すべき見込ある人を除くの外は一切雇入るゝを嫌ふよし

（未完）

○北海道出品の甜菜糖・博覽會農林館內北海道の部に出陳したる紋別製糖所の製造に係る甜菜糖は曩振國有珠郡の各村に於て栽培する甜菜（俗に砂糖大根と稱す獨名ツッケルリューベン）より製したるものにて館內各府縣砂糖の出品多しと雖も他に類例なき唯一の出品なるが古來我國に於て產出する砂糖は悉く皆甘蔗より製したるものにて當て他の植物より造りたるの例なき事あるが抑も此甘蔗なるものは熱帶地方の植物にて氣候寒冷なる所にては充分の發生を見ると能はざれば本邦の如く氣候の炎熱あらざる國土には適せざるが故唯僅に琉球、九州、四國等氣候の稍や溫暖なる所ユ限りて之を栽培して砂糖を製出するも關東、奥羽、北海道等の寒冷なる土地には適せざれば是等の諸國には更に砂糖の產出を見ず斯る次第あるを以て內國產の砂糖丈けにては毫も人民の需用を充すと能はず常に海外の輸入を仰かざるを得ざるの有樣あり內務省勸農局にては常に此事を憂へ居たりしが去る明治十年開拓使屬農業教師米人クラク氏任期滿ちて歸國せんとするに際し右有珠郡に至り近來歐米各國中甘蔗を產せざるの地に於ては甜菜糖製造に與り潤益多からざる事を說き北海道にても此業を創ず可きを勸奬し且つ製糖會社の現社長なる田村榮充氏に約するに明年米國より甜菜の種子を送致し之を試作せしむる事を以てせしかば田村氏は翌明治十一年同十二年ユ亘りて試作したるに其地方は甜菜決し之を適にては製糖場の建築ユ着手し厚山田實是れ紋別製糖會社の創業ユ至るまでの顚末を中止し製糖法を改良く今日の盛業ユ至りしなり

○日用雜貨　近年物價騰貴ユ泣顏に蹙て平年の倍を被り蔬菜類ありと聞けば益々金を投じて買ひ金融の中にも水產物は不景氣ユして安直にて不景氣を補はせんに○に味噌醬油ず粉品不足に昇りしは其他原品の値段少し又合鹽五貫百匁相場は十ヶ年間ユ亘り最高價ユ達し其他塗物は高價ユ入し漆器（漆塗）を以て從來する得ざる所ならず製法を改良に此度出品せりといふ

純良の砂糖に蒸汽鋪を用ひ千貫目餘を製し又同二十八年間ユ亘り最高價ユ達し其他塗物は高價ユ入し漆器（漆塗）を以て從來する得ざる所ならず製法を改良に此度出品せりといふ

純良の砂糖に蒸汽鋪を用ひ千貫目餘を製し又同二十八年間ユ亘り最高價ユ達し其他塗物は高價ユ入し漆器（漆塗）を以て從來する得ざる所ならず製法を改良に此度出品せりといふ

五千貫目中二分の一種の臭氣ありしが明治たるに依て其色純白に製出の砂糖